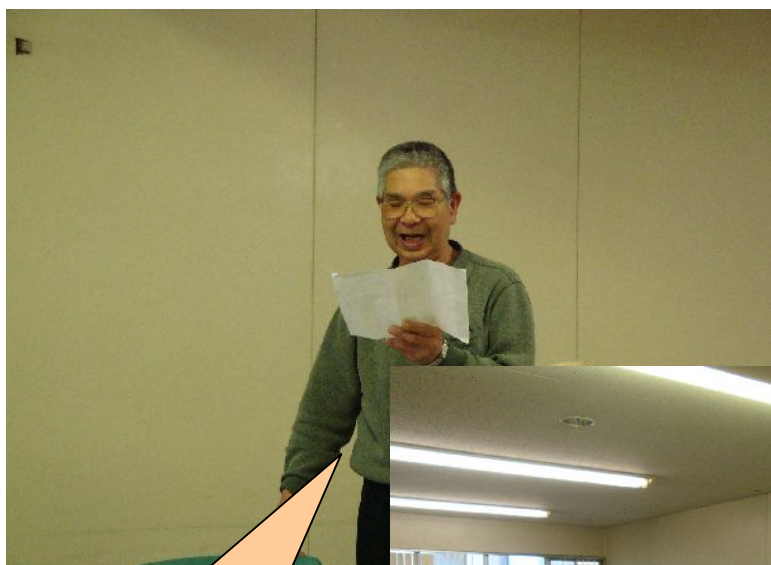


## 「お国ことばで語る憲法」学習会の報告

3月22日（土）午後、参加者みんなが出身地のことばで憲法を語るというユニークな学習会でした。当日は11名の参加者でした。はじめに「改憲論の問題点」について学習をし、そのあと参加者全員が出身地のことばで憲法を語りました。

どこのお国ことばを聞いても「なにを云っているのかよくわからない」のですが、もう戦争をしないこと、国民が主人公であることなどが語られていることが伝わってきます。女性が戦後始めて参政権を得たという件では、参加者の「戦後、母親が初めて選挙に行く時、よそ行きに着物きて行ったと聞いた」というお話が印象的でした。



討論が、最近のベビー・シッター事件の及んで、「この問題は、自助、共助を強調して公助が弱められているところにある」と熱弁の雨宮さん。

北海道出身の滝川さんが、北海道弁(?)で、……何云ってるかさっぱりわかりません！ 北海道ってそんなにわからないの!??

